

# ハクサイの上手な貯蔵方法

大きく育ち、固く結球したハクサイは、一斉に収穫するだけでなく、ある程度畑に残して順次収穫し利用したいものです。

この場合、畑でそのまましておく、厳しい霜や寒風のために、球の頂部の柔らかい葉や外葉が力サカサになり、やがてそこから腐って食べられなくなります。防寒対策を施して長い間利用したいものです。

一番簡単な防寒対策は、霜が降り始めたころ、先に収穫した株の少しおれかけた外葉を球の頭上に4〜5枚覆いかぶせておくことです。少しおれかけていた方が球になじみやすく風で吹き飛ばされにくいので好都合です。

畑にある程度長く置く場合は、なるべく多くの外葉で球を包むように



して、ポリテープや細縄などで縛っておきます。元気良く育つと葉折れがひどく、作業しにくいので、多少霜に遭い葉が柔らかさを増してから作業するようにしましょう。

相当広い面積の畑で多数の株を貯蔵するには、べた掛け資材（長繊維不織布、割繊維不織布）を広げて、頭上に2〜3枚重ね掛けするのが効果的です。プラスチックフィルム、特にポリフィルムは、じか掛けにするとその直下は一時的に外気温よりも低くなってしまいうので、使用しないでください。

大面積の栽培での本格的な貯蔵法として囲い貯蔵法があります。これは、ハクサイを畑から根ごと引き抜いて、別の場所に根を下方に向けて密に並べ置き、上に稲わらなどの



【畑でまとめて貯蔵(約2カ月)】  
根を付けたまま株を引き抜き、まとめて稲わらで覆う



保温材で覆って寒さから守る方法です。この場合、寒害を受ける前に、通常よりもやや若取りすることが大切です。そして寒害を受ける直前に貯蔵に取り掛かるよう配慮します。

この方法を上手にすれば、約2カ月も長期貯蔵することが可能です。いずれの防寒、貯蔵方法でも、貯蔵する前にアブラムシやアオムシなどが寄生していると増殖してしまう恐れがあるので、事前に薬剤防除をすることが肝要です。

収穫後に短期間品質を保持するには、新聞紙にくるんで涼しい場所に立てて置くのが簡単です。これで約1週間鮮度を保てます。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

## JA旬みつけ!

無料  
アプリ登場

JAグループは4月から、直売所を中心としたJAの情報発信するスマートフォンアプリの運用を始めました。JAまつりやイベント情報、毎日の食事に役立つ情報を見ることができます。100種類以上の農産物の選び方や保存方法、栄養、レシピなどを紹介する「食材辞典」の他、お近くのJA直売所を登録すると、あなたにぴったりのお得な情報をお届けします。



JA旬みつけ!  
をご利用になるには

- 1 スマートフォンのアプリで「JA旬みつけ!」を検索
- 2 アプリをインストール
- 3 JA旬みつけをはじめよう!

